

腎臓内科専攻医研修カリキュラム

1 研修目標

腎臓専門医としての、総合的腎疾患管理能力を身につける。

血尿や蛋白尿などの尿異常患者から、慢性腎炎、ネフローゼ症候群の精査、治療、生活食事管理、さらに慢性腎不全の管理や腎移植まで腎疾患のすべての分野に取り組み、日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医、日本腎臓学会専門医になるために、必要な知識・技能・態度を身につける。

また、内科認定医、内科専門医の1分野として腎臓内科の研修を1ヶ月間の予定で行う。

2 研修内容

腎臓専門医コース

知識

A:よく理解している

B:概略理解している

	1年次研修	2年次研修	3年次研修
1 腎・尿路の形態・機能・病態生理	A	A	A
2 主要症候	A	A	A
3 疾患分類			
系球体疾患分類	A	A	A
尿細管・間質疾患分類	A	A	A

診察

A:1人で所見がとれる

B:指導を受けて所見がとれる

1 腎の触診法	A	A	A
---------	---	---	---

検査

A:1人で所見がとれる

B:指導を受けて所見がとれる

C:見学などで理解している(知っている)

1 尿検査	A	A	A
2 血液生化学検査	A	A	A
3 免疫学的検査	A	A	A
4 腎機能検査	A	A	A
5 画像診断 (腹部単純撮影・排泄性腎盂造影・超音波断層・CT・MR1・腎血管造影・レノグラム・腎シンチグラムなど)	B	B	A
6 病理組織学的検査			
腎生検手技	B	B	A
腎組織診断法			
(光顕)	B	B	A
(免疫組織学)	B	A	A
(電顕・分子生物学)	B	B	A
7 腎内分泌機能検査	B	B	A
8 内圧測定(腎盂・膀胱)	C	C	C

治療

A:原則として経験する(担当医として受け持つ)

B:指導医のもとに経験する

C:概略としての知識を有すること

1 生活指導	A	A	A
2 食事指導	A	A	A
3 輸液・水・電解質管理	A	A	A
4 薬物療法	A	A	A
5 血液浄化法			
急性血液浄化法	A	A	A
慢性(維持)透析法	A	A	A
種類			
血液透析法	A	A	A
腹膜透析法	A	A	A

血液吸着法	A	A	A
血液濾過法・血液濾過透析法	A	A	A
血漿交換法	A	A	A
6 手術療法			
腎移植・腎移植	C	C	B
尿路結石治療法	C	C	B
ブラッドアクセス	C	C	B
CAPD 腹腔カテーテル挿入	C	C	B

症例

1 腎不全			
a. 急性腎不全			
1) 腎前性	A	A	A
2) 腎後性	A	A	A
3) 腎性			
急性尿細管壊死	A	A	A
急性腎疾患	A	A	A
4) 多臓器不全	A	A	A
b. 慢性腎不全			
1) 慢性糸球体腎炎	A	A	A
2) 糖尿病性腎症	A	A	A
3) 腎硬化症(良性悪性)などの血管障害	A	A	A
4) 慢性間質性腎炎	B	B	B
5) 慢性腎盂腎炎などの感染症	A	A	A
6) 代謝性疾患	B	B	B
7) 遺伝性疾患	A	A	A
8) 泌尿器科的腎・尿路疾患	A	A	A
9) 移植腎(拒絶反応など)	B	B	B
c. 長期透析患者の病態	A	A	A
2 水・電解質代謝異常			
a. 水代謝調節系の異常	A	A	A
b. 電解質異常	A	A	A
c. 酸・塩基平衡異常	A	A	A
3 原発性糸球体疾患			
a. 臨床症候分類			

1).急性腎炎症候群(急性糸球体腎炎)	A	A	A
2).急速進行性腎炎症候群 (ANCA 関連腎炎を含む)	A	A	A
3).無症候性反復性・持続性血尿蛋白尿 (起立性蛋白尿を含む)	A	A	A
4).慢性腎炎症候群	A	A	A
5).ネフローゼ症候群	A	A	A
b.形態分類			
1).微小変化群	A	A	A
2).巣状分節性病変(巣状糸球体硬化症 巣状メサンギウム増殖性腎炎を含む)	A	A	A
3).びまん性糸球体腎炎			
(1)膜性糸球体腎炎(膜性腎症)	A	A	A
(2)増殖性糸球体腎炎			
・メサンギウム増殖性糸球体腎炎 (IgA 腎症、非 IgA 腎症)	A	A	A
・管内性増殖性糸球体腎炎	A	A	A
・膜性増殖性糸球体腎炎 (I 型および II 型)	A	A	A
・管外性増殖性糸球体腎炎 (半月体形成性腎炎)	A	A	A
(3)分類不可能の糸球体腎炎	B	B	B
c.遺伝性糸球体疾患	A	A	A
4.尿細管間質性疾患	B	B	A
5.全身性疾患による腎障害	B	A	A
6.高血圧および腎血管障害	B	A	A
7.腎・尿路感染症	B	A	A
8.泌尿器科的腎・尿路疾患	C	C	B
9 遺伝性腎疾患	B	B	B
10.妊娠の腎に及ぼす影響			
a.正常妊娠時の腎機能	B	B	B
b.妊娠合併症	A	A	A
c.腎疾患と妊娠	B	B	B

内科認定医、内科専門医コース

期間は1ヶ月間とする。この期間内に代表的腎炎(IgA 腎症、膜性腎症)、ネフローゼ症候群、透析導入例を経験することが出来、診断、治療方針について修得する。また、急性腎不全管理や水分・電解質管理についての基礎知識を学習する。

3 評価

A:目標に到達

B:目標に近い

C:目標に遠い

	自己評価	指導医評価
腎疾患の知識		
腎疾患における診察		
腎疾患の検査		
腎疾患の治療		
医師としての行動評価:患者、医師関係		
チーム医療		
問題対応能力		
安全管理		
医療の社会性		